



速報版

発行所 国 鉄 労 組  
盛 岡 地 方 本 部  
発行者 齋 藤 庄 司  
編者 中 堤 聡

2011年  
3月30日

今回の地震に伴う被災状況の  
未報告の分会は至急連絡を

地方本部は、3月11日に発生した東北地方太平洋沖を震源とするM9.0の地震を受け、15日の地方闘争委員会で「東日本大地震災害対策本部」を設置し指示第18号(3月15日付)で被災された組合員・家族及び被災された皆さんに心からお見舞い申し上げますとともに、組合員・家族の安否・被害状況の確認報告や列車の運行再開・設備の復旧に全力をあげることなどを要請した。  
また、3月28日には、亡くなられた組合員・熊谷秀三さんのご冥福をお祈りするとともに、「地震災害に対するカンパ」の取り組みを指示第19号で発し、組合員への特段の協力を要請している。

# 熊谷秀三(陸前高田駅)さん 津波に尊い命を奪われる

＝自宅流失・損壊・床上浸水、自家用車流失など被害多数＝

## 遺体安置所でお兄さんが 熊谷秀三さんを確認 ご冥福をお祈り申し上げます

陸前高田駅に勤務中だった熊谷秀三さん(55歳)が、避難所に向かう途中に行方分からなくなり、安否が確認できていませんでしたが、残念ながら20日に矢作中学校遺体安置所においてお兄さんたちにより本人確認がなされました。ご冥福をお祈り申し上げます。熊谷秀三さんの火葬が27日、葬儀は28日に近親者のみでとりいとなまれました。組織として、後日御焼香に伺うこととしている。盛岡支社内では、釜石駅の社員1人も消息不明と連絡が入っている。

## 「組合員も広範囲での被災」 気仙沼から八戸の沿線

報告のあった分会毎の主な被害状況(3月28日現在)は次のとおり。

- 〈気仙沼地域分会〉
- ▽自宅崩壊 1件
- ▽宿舍A P流失・焼失 4件
- ▽床下浸水 1件

## 24・25日に本部・地本対策本部で 宮古・釜石・一関地区へ支援物資



宮古地区協へ支援物資(25日)

- ▽自家用車の流失 2台
- 〈宮古地域分会〉
- ▽自宅流失 1件
- ▽自宅損壊 1件
- ▽自宅床上浸水 1件
- ▽乗用車流失 4件
- 〈釜石地域分会〉
- ▽家族行方不明 1件
- ▽自宅全壊 1件
- ▽自宅傾き 1件
- ▽A P被災 1件
- ▽自家用車被災 6台(走行不能含む)
- 〈北上駅連合分会〉
- ▽宿舍A P流失 1件
- 〈盛岡運転分会〉
- ▽自宅床上浸水 1件
- 〈盛岡貨物分会〉
- ▽自宅全壊 1件

## 指示19号で組合員にカンパを要請

- 1、カンパ目標金額  
組合員1人2000円以上を目標とする。  
ただし、被災された組合員及び被災された家族のいる組合員を除く。
- 2、カンパ金集約日及び送金先  
2011年4月の賃金日に徴収し、5月10日(火)厳守で指定口座に送金すること。送金書(組合費納入方式)を地方本部に送付すること。
- 3、その他  
指示第18号での取り組み、被災状況を報告していない分会は、早急に報告すること。  
※ 交運共済への給付申請は、分会担当者を通して取り扱うこと。

被災された組合員への支援物資が盛岡地区組合員を中心に地方本部に多く届けられ、寄せられた支援物資を本部に設置されている東日本大地震災害対策本部からの支援物資搬送に合わせ、24日に一関地区(気仙沼)、25日には宮古地区、釜石地区に届けた。  
本部からは、鈴木総務・財政部長と松井東日本本部書記長が2トントラックに飲料水、即席カップめん、精米、衣類など多くの支援物資を詰め24日13時過ぎに一関地区協に到着盛岡から物資を積み向かった齋藤委員長と合流、物資を下ろし盛岡へ移動。  
翌日25日には、盛岡の支援物資もトラックと盛岡支部の車に積み、齋藤委員長、佐々木書記長も同行、地震の悲惨さを目にしながら宮古・釜石の地に届けた。17時過ぎには、地震で尊い命を奪われ、千厩町の「いわい典礼セレモニーホーム」で眠る熊谷秀三さんの御霊に手をあわせ、ご冥福を祈り帰路についた。

東日本大震災